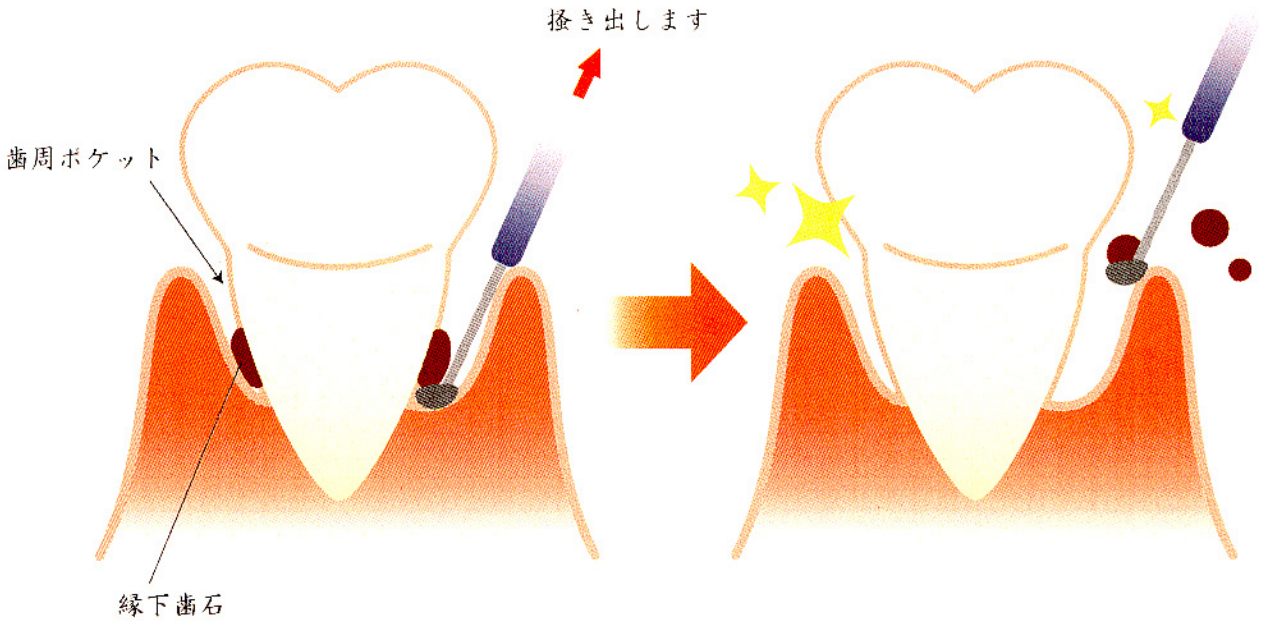
SRP（スケーリング&ルートプレーニング）について

歯の表面の歯石とりが終わったのち、歯ぐきの２回目の検査で、まだ歯肉の炎症が残る場合はSRP（スケーリング&ルートプレーニング）が必要となります。

SRPとは、歯周病の原因となる歯根と歯肉の間の溝（歯周ポケット）に入り込んだ歯石（縁下歯石）や炎症を起こした組織（不良肉芽）を専用の器具により掻きだす治療法です。SRPによって、さらに歯周病の進行を抑制し改善をはかることが可能です。

※SRPをおこなっても炎症の改善がみられない場合は、外科処置が必要な場合もあります。



SRP予定の歯

上

右	8 7 6 5 4 3 2 1	1 2 3 4 5 6 7 8	左
	8 7 6 5 4 3 2 1	1 2 3 4 5 6 7 8	

下

おくむら歯科
OKUMURA DENTAL OFFICE